

	レベルⅠ（支援）	レベルⅡ（自立）	レベルⅢ（役割モデル）	レベルⅣ（リーダー）
看護実践力	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者の代表的な疾患・治療を理解できる 複数の患者を受け持ち日常の業務を支援を受けながら行うことができる 担当時間の業務を時間内に終了するよう配分し実施できる 受け持ち患者について情報収集ができる 支援を受けながら問題を挙げることができる 支援を受けながら看護計画を立案することができます 入院時データベースを入力できる 支援を受けながら実践した看護の評価・修正ができる 支援を受けながら、実践した看護の記録ができる 支援を受けながら看護記録をマニュアル通りに記載することができる <p>*上記の看護過程の展開は『看護記録記載基準・マニュアル』に沿って行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援を受けながら看護基準・手順を参考に安全・確実に看護実践ができる 上記の看護技術は『看護基準・手順』に沿って行う カンファレンスの内容を正確に理解し、自分の意見を述べることができる 緊急時、指示を受けながら対応ができる 実践したケアや判断した異常にについて報告することができる 上司や先輩に報告・連絡・相談ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 業務量に見合った効率よい業務スケジュールを計画・実施することができる できないことや不十分なところを他のメンバーやリーダーに協力・応援の依頼ができる 日々のチームリーダー業務を助言を受けながら行うことができる 受け持ち患者について適切な情報収集がひとりでできる 適切なアセスメントを行うことができる 助言なく、適切な問題を挙げることができます 適切な看護計画をひとりで立案できる 実践した看護の評価・修正がひとりでできる 実践した看護をマニュアル通りに記載することができる ひとりで看護基準・手順に沿って安全・確実に看護実践ができる 新卒者に看護実践の指導ができる カンファレンスにおいて内容に対する問題点を理解し、患者のニーズを把握した上で自分の意見（確実な）を述べることができます 緊急時、一人で対応できる 行ったケアについて正確に報告できる 実践したケアやアセスメントについて正しく報告することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 看護実践の役割モデルになることができる 日々のリーダー業務と役割を理解し、助言を受けずに行なうことができる 全体の動きを見て臨機応変に業務のバランスをとることができる アセスメント能力を高め、潜在する問題点を明確にし、個別性を考慮した看護展開ができ、メンバーと共に育成できる 熟練した看護技術を実践し、メンバーに指導することができる 業務改善的な視点を持ち行動に移すことができる 看護業務の実践及び指導ができる カンファレンスにおいてメンバーの意見を引き出すことができる 緊急事態時、優先順位を考慮した予測や判断ができ行動できる 事例を通して問題を分析し解決法を見出すことができる 院内外研修を実践に活かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 看護実践において、リーダーシップを發揮し、ロールモデルになることができる 部署内の業務調整が図れ、指導・支援ができる 部署内で展開される看護過程の状況を常に把握し、問題点・改善点を明確にできる 患者の背景を把握し、生活支援のコーディネートができる 「レベル」の看護師が、メンバーに対して適切な指導ができるよう育成することができる カンファレンスにおいてメンバーの主体的な意見を引き出し、ファシリテーター的役割を担い、適切な方向へ導くことができる 緊急事態にリーダーシップが発揮でき、メンバーへ指示・指導ができる 看護場面における問題発生時、問題を分析し解決方法を実践することができる 家族に対して、倫理的配慮をふまえた対応ができる
教育	<ul style="list-style-type: none"> 不明な点や未習熟の技術を明らかにできる 院内の研修会に参加し、内容を理解することができる 自己の学習課題を明確にすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 院内外の研修に参加し、研修の学びを伝達することができる 看護実践に役立つ新しい知識・技術を身につけようと自ら研修に参加できる 不明な点や未熟な技術を明らかにすることができる 後輩を育成するプリセプターの役割を担うことができる 看護助手への指導ができる 看護学生の実習指導への協力ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 新卒者・中途採用者・後輩・看護学生・看護助手の指導ができる 教育活動に積極的に取り組むとともに教育活動について模範的な役割を実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> 部署内に必要な教育的活動の企画・運営ができる 看護部全体の教育活動を支援・推進できる
研究	<ul style="list-style-type: none"> 看護研究に関心を持つことができる 1事例を振り返り抄録を作成し事例発表を行なうことができる（＊新卒扱いに限る） 	<ul style="list-style-type: none"> 看護研究に取り組むことができる 看護研究のメンバーの一員として参加できる 	<ul style="list-style-type: none"> 看護研究のメンバーの中心として取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 看護研究メンバーの調整を行うとともに、自己の研究テーマに対して継続的に臨むことができる 看護研究活動を推進し助言できる
ヒューマンスキル	<p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら笑顔で挨拶をすることができる メンバーとの些細な約束も守ることができ 他者の意見を聞くことができ、話の輪に入れるように自分から声をかけることができる 陰口など言わない、同調しない、などの姿勢を維持することができます <p><社会人としての基本的な姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な挨拶、正しい言葉遣いができる TPOをわきまえた敬語で話すことができる 同僚とも敬語で話すことができる ルールや周囲のアドバイスを取り入れて身だしなみを整えることができる 守秘義務を遵守しプライバシーを守ることができます <p><人となり（人柄）></p> <ul style="list-style-type: none"> 誠実謙虚な姿勢で学ぶことができる 嘘をついたりごまかしたりしない わからないことをあいまいにせず、確認して行動することができます 患者・家族の話や人の意見を真摯に受け止め、聴くことができる ゴシップ的な発言を控え、責任ある発言を心がけることができる 	<p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 協調性を身につけ職員間のコミュニケーションをとることができます 社会人として自分の行動に責任が持てる 人の意見や外的コントロールに対し冷静に対応することができます <p><社会人としての基本的な姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的姿勢を身に付けることができる <p><人となり（人柄）></p> <ul style="list-style-type: none"> 誠実謙虚に行動できる 患者、家族、他の職員に対して誠実な対応をとることができます 他者を心地よくする言動がとれる 他者を不快にする言動をとらない ゴシップ的な発言を控え、責任ある行動ができる 	<p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の感情に気付き、コントロールすることができる 人の意見や外的コントロールに対し前向きに対応することができます <p><社会人としての基本的な姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> 模範となることができる <p><人となり（人柄）></p> <ul style="list-style-type: none"> 責任ある行動を取ろうとする姿勢がうかがえる 他者を心地よくする言動がとれる 自らの発言が及ぼす影響を理解しており、責任ある発言をし後輩へ指導することができます 	<p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の一職員として、院内外の人々と良好な関係を保つことができる 人の意見や外的コントロールに対し自己を振り返り課題として捉えることができる <p><社会人としての基本的な姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> 指導し、部署全体の風土を作り、モラルを高めることができます <p><人となり（人柄）></p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな感情で周囲の人へ信頼される雰囲気を放つことができる いつも感情が安定しているようにみせることができます 上司、後輩からみて、安心して頼れる存在となることができます ゴシップ的な発言のない職場作りに努めることができます